

いずみの会 CML広島交流会 開催レポート

日時	2015年10月24日(土) 13:30~17:00
場所	広島YMCA国際文化センター403号室
実施内容	① 広島大学病院血液内科の先生方によるご講演 ② 質疑応答 ③ 懇親会

今年度4回目となる交流会は、10月24日(土)に、すがすがしい秋(安芸)晴れの広島で開催されました。

昨年度、つばさフォーラム in 広島にて多大なるご協力をいただいた広島大学病院血液内科の一戸辰夫先生、大島久美先生の両先生を再びお招きし、ご講演をいただきました。

当日は予想をはるかに上回る50名近くの方にご出席いただき、会場はほぼ満席の状態となりました。また、両先生方の熱い講演及び質疑応答に時間を要したため、当初予定しておりました患者どうしの交流の時間は取ることができなくなりましたが、ご参加された皆さまから出しいただいた質問は全て先生方に丁寧にお答えいただいたほか、また、口頭での質問にも非常に懇切丁寧なアドバイスをいただき、ご参加された患者及びその家族の皆さまにとって有意義な1日となったのではと思います。

ご講演いただいたお二方の先生におかれましては懇親会までご出席いただきました。厚く御礼申し上げます。

また、当日の運営に際し、ボランティアでご協力いただいたスタッフの皆さまにも厚く御礼申し上げます。

1. 講演「CMLの最新治療」(広島大学病院血液内科 一戸辰夫先生)

一戸先生からは、CML治療の変遷やそのメカニズム、治療効果の判定、チロシンキナーゼ阻害剤の有効性等について、ご講演をいただきました。

特に印象的だったのは、チロシンキナーゼ阻害剤の投与中止に向けた取り組みで、この導入にあっては分子遺伝学的完全寛解(CMR)の国際標準である4.5log reductionの維持が一つの目安となるということでした。各医療機関において、チロシンキナーゼ阻害剤の投与をストップさせて試験が行われており、高額の治療費の中で服薬を続ける患者にとっては、次なる目標に向けて頑張れるモチベーションにもなったと思います。

また、閑話休題的に某元女優の「赤い」シリーズや、トランプの絵柄を用いたお話等、長時間の講演の合間に息抜きを入れて下さり、つつい堅苦しくなりがちな雰囲気とを和ませて下さり、色々な意味で楽しめるご講演でした。

2. 講演「CMLとQOL」（広島大学病院血液内科 大島久美先生）

今回のご講演にあたり、事前に事務局より、これまでの交流会において寄せられる患者の関心事についてお伝えしていたのですが、特にQOL（Quality of life：生活の質）の観点から、その一つ一つを丁寧にわかり易く説明してくださいました。

副作用においては、むくみに対しては塩分の摂取を抑えることが有効であるといったことや、特に女性の関心が高いTKIによる治療と妊娠との関係については、CMLになったことですぐにあきらめる必要はないといった、希望の持てる内容であったと思います。

3. 懇親会

交流会の終了後、同会場にて希望者による懇親会を開催いたしました。お一人ずつマイクを持っていただき、日常生活の苦労や医師との意思疎通の大切さなど、参加された皆さんで悩み等を共有いたしました。患者でない方に対して言いにくいことであっても、CML患者同士だと話が早いですね。「だって、同じ遺伝子だもの！」とおっしゃった方がいましたが、まさにいい得ていると思います。

日ごろの服薬等、治療中であることをものともせず活動的な皆さまが多く、私も大いに触発されました。このような会には数回参加させていただいているのですが、どこへ行っても皆さんのバイタリティーには関心させられます。ここで出会った縁を大切にしつつ、少し元気になって、それぞれの生活の場に帰っていく皆さんの姿が印象的でした。

番外編ですが、今回の交流会に控えめに持っていきました当会オリジナルTシャツにつきましては、スタッフの営業努力もあり完売となりました。今後、交流会開催される地域の皆さまにおかれましては、是非当会運営のご理解とご協力をいただきつつ、応援の気持ちで購入いただけると幸いです。

当日ご参加いただいた皆さまに対し、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

いずみの会 やまちゃん